

山行報告書

日時	2013/ 8/9(金)～8/13(火)		
山名	立山・剱		
CL	阿部功司	参加者	加来千陽 友田葉子 小山孝広 坂本信子 財津裕一
HP記載の有無：無し			
<p><b>8月9日(晴れ)</b> 22:00ニッポンレンタカー住吉店出発ー23:55佐波川SA、ドライバー交代</p> <p><b>8月10日(快晴)</b> 2:02福山SA、ドライバー交代ー3:50三木SA給油①(45.5l、7508円)、ドライバー交代ー6:20草津PA、ドライバー交代ー7:30～8:10刈谷PA(ドタバタの後で名称未確認。観覧車のあるSAから特定)、食事、ドライバー交代ー9:55高岡PA、ドライバー交代ー11:15立山駅到着(走行時間:13時間15分、総走行距離:1000km余り)。</p> <p>草津から名神を経て北陸道に入るのが本来のルートだったが、カーナビが新名神を指示したため迂回路を取る羽目に。ルートがすっかり頭に入っている阿部さんが草津PAで運転交代し仮眠のため最後部座席に移動。ドライバーとナビゲーターがカーナビにまんまと騙されてしまったのは不幸だった。最初目的地設定する時にルートも確認しておくべきだったが後の祭り。かなり時間を食ったが、旅程に余裕があり設定到着時刻に着けたのは不幸中の幸い。ケーブルカーの待ち時間に昼食。富山名物鱒ずしも駅売店で購入可。</p> <p>12:20ケーブルカー(7分):立山駅(標高475m)～美女平(標高977m)ー12:40バス(40分):美女平～室堂(標高2450m)ー13:30室堂出発ー14:20雷鳥沢キャンプ場(標高2280m、利用料一人500円)到着。</p> <p>テント二張りを設営し、前夜祭。ビールは雷鳥沢ヒュッテ、雷鳥荘とも購入可。500ml500円と良心的。ヒュッテでは生ビールも飲めるが、管理が万全ではないためかうまくない(古くなったビールみたいなの…。入れ替えの時期にもよると思うが)。ジョッキの雰囲気だけで600円は投資の価値なし。ヒュッテは非宿泊者の温泉利用も可。各自、携行食で夕食。小山さんのジェットボイルがフル稼働。18時には就寝。夜中目が覚めて、テント抜け出すと満天の星。後で知ったことだが、ベルセウス流星群がここ数年で最高の条件だったらしい。たまたま最大時期に目が覚めた小山さんが流れ星がきれいだったと……。なんて起こさんの!</p> <p><b>8月11日(快晴)</b> 4:00起床、5:00食事、6:00出発(標高2280m)ー6:30小休止ー7:06小休止(標高2510m)ー8:00一の越山荘(標高2700m)ー9:10～9:40雄山山頂(標高3003m)ー9:55大放山(標高3015m)ー10:10大汝避難小屋ー10:30富士ノ折立(標高2999m)古賀さん事故現場確認しお参り。その後昼食ー11:50出発ー12:35真砂岳(標高2880m)ー13:18別山分岐点ー13:42別山(標高2880m)ー15:00剱沢キャンプ場(標高2520m、利用料一人500円)到着(行動時間:9時間)</p> <p>事故のあった春の立山山行をなぞる行程。快晴でアルプスの山並みが遠くまで見渡せ、コバケイソウやシナノキンバイなどが咲き乱れる素晴らしい景色。雄山山頂には雄山神社があり、神主さんがお祓いをし、お神酒をくださる。神社に上がるには500円かかるが、上がらないことには頂上(3003m)に行けないし、鈴の付いたおれもくれるし、ま、いっか! ?大汝の避難小屋(事故の後、5名が一夜を過ごした)を経て、富士ノ折立(の頭)に着いた。春山参加の3名から当時の状況を聞く。異口同音に「こんな細く切り立ったルートだったか?」と。雪が降り積もってスペースが広がっていたのだろう。そしてその雪庇に古賀さんを奪われた。崖や岩の形など地形を加来さんが鮮明に記憶しており、滑落した地点など当時の状況が確認できた。御遺体が発見されたという旧内蔵助小屋跡地が頭から見渡せ、視界さえあれば救助できたのにとと思うと無念さが募る。友田さんが用意した線香と古賀さん一押しのアサヒスーパードライブを供えた。合掌! 別山では、明日登る剱が我々を威嚇するかのよう(誘うかのよう?)、そのごっこつとした岩肌を見せつけていた。キャンプ場に着くと加来さんのザックがドラえもんのかつと化した。アボガド、ミニトマト、玉ねぎ、パプリカなど新鮮な野菜が次々と出てくるではないか。野菜サラダ、春雨スープ、ご飯などとても野外生活とは思えない豪華な食事となった。もちろんその前に、各自自慢のつまみにビールはマスト。ただ、雷鳥沢と違い、ビール買うのに剱沢小屋まで結構な距離と標高差(調べると20mとなっているが30～40mはありそう)がある上、500ml700円と少し高め。水は水道水ではないが塩素消毒した飲用可能な冷たい水がふんだんに出ている。</p> <p><b>8月12日(快晴)</b> 3:00起床、3:45剱沢キャンプ場(標高2520m)出発ー4:30剱山荘(標高2475m)ー5:15一服剱(標高2618m)ー6:25前剱頂上(標高2813m)ー7:26平蔵の頭ー7:48カニのタテパイー8:35～9:00剱岳山頂(標高2999m)ー9:45平蔵のコールー10:35前剱の門ー11:25一服剱登り口ー12:15剱山荘ー13:05～13:35剱沢キャンプ場ー14:35剱御前小屋(標高2750m)ー16:35雷鳥沢キャンプ場(標高2280m)到着(行動時間:12時間50分)</p> <p>避暑地のお嬢様を選択した加来さんの見送りを受け5名が剱岳に挑んだ。テントは残したまま、水や行動食などを持って出発。剱山荘までは雪渓が多かった。鎖場に行くまでに落ちたらカッコ悪いのでそれなりに注意。鎖場を登ったり降りたりが続くが、かなりの渋滞。カニのタテパイは直登という言葉がふさわしい。手を保護するために手袋は必要だが、指先が出ているものがベスト。ハーネスとカラビナはなくても注意すれば人間もみじおろしになることはないが、落石を考えるとヘルメットはあった方がいいかも。持ってたのは友田さんだけ。ジャンダルム帰りは違うよ! 若者の倍近い時間をかけて無事登頂! 遠く槍ヶ岳を望む山頂での記念写真は出色の出来栄であった。険しい登りよりホッとして気が緩む下りの方が事故が多いと聞いていたが、それだけではない! 足元が見えず、手探り(足探り?)で降りなければいけないので結構苦労する場所があった。可能なら室堂の最終バスに乗る予定だったが、剱沢キャンプ場に到着した時点でそれはかなり困難な状況になっており、結局、雷鳥沢キャンプ場でもう一泊。全員疲労困憊! それにしても御年70になろうとしている坂本さんの健闘には脱帽! 雷鳥沢ヒュッテの温泉に浸かった後飲むビールの味は格別! 三日目も満天の星。</p> <p><b>8月13日(快晴)</b> 5:00起床、5:30出発ー6:45室堂ターミナル着ー8:00バスー8:50ケーブルカーー9:00立山駅(朝食:そば、うどんなど)ー9:45出発、インター手前で給油②(38.95l、5818円)ー11:40女形谷PA、ドライバー交代ー13:25～14:00草津PA(昼食:近江牛)、ドライバー交代ー15:58白鳥SA、ドライバー交代ー18:14～18:35小谷PA、給油③(53.06l、8648円)、ドライバー交代ー20:25～21:05美東SA(夕食:チャンポン)ー23:05最終給油④を済ませ、日本レンタカー住吉店に到着(走行時間:13時間20分、走行距離:1000km余り)</p> <p>前日、キャンプ場泊りとなったため、早起きして室堂まで移動。ミクリガ池が、立山連峰の稜線をくっきりと映して、見事な鏡面像をプレゼントしてくれた。高速の渋滞もほとんどなく順調な走行だったが、燃料計が残り4分の1を切った後、急激に下がり始めた時にはあわやガス欠か! ?と肝を冷やした。高速は早めの給油が鉄則でした。23時を5分超過したため、2000円余りの超過料金を払う羽目になったのはしゃくだったが、これほどすべての条件に恵まれた山行だったことを思えば、この程度はご愛嬌。阿部さんの周到な事前準備に感謝し、互いの健闘を称えて解散した。</p>			